

岸本兆方教授の御退官によせて

岸本兆方先生には平成3年3月末日をもって京都大学を停年退官され、京都大学名誉教授となられました。ここに、あらためて先生の永年にわたるご研究とご業績の一端をご紹介して敬意と感謝の意を表したいと思ひます。

先生は昭和26年京都大学理学部地球物理学科をご卒業ののち、大学院特別奨学生を経て、昭和31年4月に理学部講師（非常勤）、翌32年4月には理学部助手となられました。昭和33年7月には、「地殻・マントル構造の研究」によって理学博士を取得されましたが、とくに13°および20°-不連続面の研究は世界的に有名であり、当時のわが国の地震学会における輝かしい業績の一つに数えられております。昭和33年4月には防災研究所に地かく変動研究部門が設置されるところとなり、先生はその助教授に昇進され、西村英一教授とともに地殻変動の研究に従事されました。昭和39年1月には理学部助教授として転出されましたが、1年後の昭和40年4月には専任教授として再び地かく変動研究部門に帰られ、地殻変動の研究の発展と部門の運営に当たられました。昭和48年に微小地震研究部門が新設されたことに伴い、先生は同部門を担当されるところとなりましたが、以後ご退官の日まで微小地震を中心とする地震予知の研究に精励してこられました。

この間、昭和40年からは新設間もない附属鳥取微小地震観測所の施設長に就任され、さらに昭和44年から48年にわたっては附属上宝地殻変動観測所の施設長、昭和45年4月には先生ご自身がその設立に力を尽くされた附属北陸微小地震観測所の施設長に就任されて、これらの観測所における観測と、その管理運営に携わってこられました。以後これらの施設を含めた改組によって附属地震予知研究センターが発足するまで、それぞれの地域での微小地震の観測研究の発展と管理運営に当たってこられました。

先生の微小地震研究へのご貢献はまことに多大なものがあつた、ここで簡単にまとめることはできませんが、とくに活断層と微小地震の関係に関する研究は特筆すべきものであります。わが国の第一級の活断層として著名な「山崎断層」の研究、わけても第4次地震予知5ヶ年計画において特別事業として発足させられるところとなった「地震予知テスト・フィールド」としての山崎断層における総合的な研究に関しては、その発足から推進にいたるまで、研究代表者として中心的な役割を果して来られました。その業績は、わが国における地震予知研究の金字塔とも申せるものでありましよう。また、先生のご指導のもとに大学院で学んだ研究者の方々が、今国内各地で活躍されていますが、これも先生の教育者としての大きさを示すものであります。

このほか、学外においては、文部省測地学審議会臨時委員、地震予知連絡会委員、東京大学地震研究所地震予知研究協議会委員として地震予知研究の発展に貢献されました。

平成2年5月には防災研究所の地震予知関連の3研究部門と5附属施設、および理学部にあった地震予知関連の4附属施設とが合併して、附属地震予知研究センターが発足しましたが、この改組の実現のために先生はまさに心血を注がれ、大変な努力をおしませんでした。幸い、各方面からの暖かいご支援のもと地震予知研究センターが設置されるところとなりましたが、先生はその初代の主任として、改組直後の本研究センターの運営に当たられ、その順調な滑り出しのために心を砕かれました。今日、地震予知研究センターは活気に満ちて研究に取り組み、新しい成果を着々生み出しつつありますが、これもまさに先生のご功績によるものといえましよう。このように、深い学識と広い視野をもって活躍されてこられた先生を、防災研究所からお送りすることはまことに残念であります。

幸いにも、先生はご壮健であられますので、今後とも、さらに自由なお立場から、私どもに対してご指導、ご助言をいただけるものと期待しております。

最後に、先生のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、御退官によせる言葉にかえさせていただきます。

平成3年4月

京都大学防災研究所長

土 屋 義 人



岸 本 兆 方 教 授

岸 本 兆 方 教 授 略 歴

昭和 2 年 5 月 11 日	大阪市に生まれる
23 年 3 月	第三高等学校理科卒業
23 年 4 月	京都大学理学部地球物理学科入学
26 年 3 月	京都大学理学部地球物理学科卒業
26 年 4 月	京都大学大学院特別奨学生進学
31 年 3 月	京都大学大学院退学
31 年 4 月	京都大学理学部講師（非常勤）
32 年 4 月	京都大学理学部助手
33 年 4 月	京都大学防災研究所助教授
33 年 7 月	理学博士学位取得（京都大学）
39 年 1 月	京都大学理学部助教授
40 年 4 月	京都大学防災研究所教授（地かく変動研究部門）
48 年 4 月	京都大学防災研究所教授（微小地震研究部門）
平成 2 年 6 月	京都大学防災研究所教授（附属地震予知研究センター）
3 年 3 月	京都大学停年退官
3 月 4 月	京都大学名誉教授

岸本兆方教授研究業績

論 文

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
	<u>地球内部構造・地震発生機構に関するもの</u>		
1952	13° 不連続面について	地震第2輯第5巻	
1954	Seismometric Investigation of the Earth's Interior Part I. On the Structure of the Earth's Upper Layer	Memoirs of College of Science, Kyoto University, A, Vol. 27	
1955	Ditto Part II. On the Structure of the Earth's Crust	Ditto, Vol. 27	
1956	Ditto Part III. On the Structure of the Earth's Mantle (I)	Ditto, Vol. 28	
1958	Ditto Part IV. On the Structure of the Earth's Mantle (II)	Ditto, Vol. 28	
1956	On the Local Structural Character of the Earth's Crust	Tellus, Vol. 8	E. Nishimura
1958	On the Nature of the 20°—Discontinuity in the Earth's Mantle	Tellus, Vol. 10	E. Nishimura and A. Kamitsuki
1957	先駆波による地殻構造の研究	地震, 第2輯, 第9巻	
1957	震央距離 6° ~ 26° における地震波の振幅について	地震, 第2輯, 第9巻	
1960	Some Problems on Poisson's Ratio in the Earth's Crust	Tellus, Vol. 12	E. Nishimura and A. Kamitsuki
1964	Investigation on the Origin Mechanism of Earthquakes by the Fourier Analysis of Seismic Body Waves (I)	Bull. Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 13	
1977	Statistical Search for Migrations of Aftershock Sequences	Bull. Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ. Vol. 27	M. Imoto
	<u>微小地震・テクトニクスに関するもの</u>		
1964	Some Properties of Microearthquakes in the Western Part of Kinki District (Preliminaries)	Special Contributions, Geophys. Inst., Kyoto Univ., No. 4	M. Hashizume, K. Oike and K. Mino
1965	鳥取微小地震観測所観測序報	京大防災研究所年報, 第8号	一戸時雄・三雲 健 尾池和夫・橋爪道郎 見野和夫
1965	On the Accuracy of Tripartite Method	Bull. Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 15	M. Hashizume and K. Oike
1966	Investigation of Microearthquakes in the Kinki District—Seismicity and Mechanism of their Occurrence—	Ditto, Vol. 15	M. Hashizume and K. Oike
1966	近畿地方西部における微小地震活動について	京大防災研究所年報, 第9号	橋爪道郎・尾池和夫
1966	On the Mechanism of Earthquake Swarm at Hamasaka	Bull. Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 16	M. Hashizume

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
1967	松代群発地震の2, 3の性質について	京大防災研究所年報, 第10号 A	尾池和夫・見野和夫
1967	微小地震の震源の求め方について	同上, 第10号 A	橋爪道郎
1968	近畿地方北半部における最近の微小地震活動	同上, 第11号 A	橋爪道郎・西田良平
1972	近畿のネオテクトニクスと地震活動	科学, Vol. 42	藤田和夫
1973	Neotectonics and Seismicity in the Kinki Area, Southwest Japan	Journal of Geoscience, Osaka City Univ., Vol. 16	K. Huzita and K. Shiono
1973	関西地域における地震活動と応力場	京大防災研究所年報, 第16号 A	
1973	Mechanisms of Microearthquakes and their Relation to Geological Structures	Bull. Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 23	R. Nishida
1974	跡津川断層附近における微小地震活動(第1報)	地震第2輯, 第27巻	和田博夫
1976	鳥取地方の最近の地震活動について	京大防災研究所年報, 第19号 B-1	佃 為成・中尾節郎
1977	西南日本の地震特性	自然災害資料解析, Vol. 4	尾池和夫・松村一男 渡辺邦彦・佃 為成
1977	微小地震と地震予知	京大防災研究所年報, 第20号 A	
1977	山崎断層付近の地震(1973年9月21日)とその余震活動	地震, 第2輯, 第30巻	佃 為成・中村佳重郎
1977	Microseismicity and its tectonic significance in the Inner Zone, Southwest Japan	Results of Researches on the International Geophysical Project publ. by Acad. Sci. USSR Soviet Geophys. Committee	K. Oike and T. Tsukuda
1978	北陸地方のサイスミシティ	地震, 第2輯, 第31巻	渡辺邦彦・平野憲雄
1978	北陸地方の微小地震活動(第1報)	京大防災研究所年報, 第21号 B-1	渡辺邦彦・平野憲雄
1978	鳥取および北陸微小地震観測所のテレメータ・システムについて	地震, 第2輯, 第31巻	尾池和夫・渡辺邦彦 佃 為成・平野憲雄 中尾節郎
1984	山崎断層東部における微小地震の広ダイナミック・レンジ三点観測	京大防災研究所年報, 第27号 B-1	西上欽也
1985	1983年鳥取県中部の地震に伴う余震活動の広ダイナミック・レンジ三点観測	同上, 第28号 B-1	西上欽也・西田良平 中尾節郎
	<u>地震予知テストフィールド, 地下水, 放射能に関するもの</u>		
1976	地震予知テストフィールドとしての山崎断層	地震予知研究シンポジウム(1976)	尾池和夫
1978	1977年9月30日の山崎断層の小地震に伴った諸観測量の異常変化について	京大防災研究所年報, 第21号 B-1	
1980	山崎断層テストフィールドにおける地震予知実験	地震予知研究シンポジウム(1980)	
1981	On Precursory Phenomena Observed at the Yamasaki Fault, Southwest Japan, as a Test-Field for Earthquake Prediction	Earthquake Prediction — An International Review, Maurice Ewing Ser. 4	
1981	山崎断層地震予知テストフィールド連続観測システムについて	京大防災研究所年報, 第24号 B-1	尾池和夫・渡辺邦彦 中村佳重郎・谷口慶祐
1982	鹿野・吉岡断層周辺におけるガンマー線測定(I)	同上, 第25号 B-1	西田良平・中尾節郎
1983	同上(II)	同上, 第26号 B-1	中尾節郎・西田良平
1984	1983年10月31日鳥取県中部の地震に伴う温泉水の異常	同上, 第27号 B-1	吉岡龍馬・西田良平 佃 為成・見野和夫 小泉尚嗣・北岡豪一 矢部 征

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
1984	地震に関連した地下水の水質変動を客観的に評価する一方法	同上, 第27号 B-1	小泉尚嗣・吉岡龍馬
1985	Earthquake Prediction by Means of Change of Chemical Composition in Mineral Spring Water	Geophysical Res. Letters, Vol. 12	N. Koizumi and R. Yoshioka
1987	観測坑内におけるガンマー線連続観測 (I)	京大防災研究所年報, 第30号 B-1	中尾節郎・渋谷拓郎 見野和夫・西田良平 桂 郁雄
1987	1984年5月30日山崎断層の地震 (M 5.6)	地震予知研究シンポジウム (1987)	桂 郁雄・中尾節郎 渋谷拓郎・見野和夫 西田良平
1989	鳥取観測所坑内での γ 線線量率連続測定	地震, 第2輯, 第42巻	
	<u>地殻変動に関するもの</u>		
1959	Observed Secular Tilting Motion of the Ground which Preceded the Occurrence of Several Destructive Earthquakes	Tellus, Vol. 11	E. Nishimura and Y. Tanaka
1962	和歌山における局所地震前後の微細土地変動の研究 (第1報)	京大防災研究所年報, 第5号 A	西村英一・田中寅夫
1963	On Observations of Local Earthquakes and the Crustal Deformation at Wakayama	Geophys, Papers Dedicated to Prof. K. Sassa	T. Tanaka
1963	和歌山における局所地震前後の微細土地変動の研究 (第2報)	京大防災研究所年報, 第6号	